

牛田さん



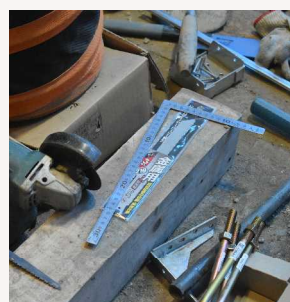
京都市右京区にある、「アラキ工務店」。

そこには、「良い仕事」をし続けることを誇りとする大工さんがます。様々な経験をしてきたからこそわかる大工の在り方について二人の大工さんのインタビューを二号分に分けて紹介します。本号は、大工歴二十九年の牛田 秀樹（うしだ ひでき）さんにインタビューをさせて頂きました。

黙々と仕事をするだけでなく、お客様とのコミュニケーションも必要

—— 施主さんとコミュニケーションを取る時に意識していることはありますか？

昔からのお客様だと、名前で親しく呼んで頂くことがあったり、僕らの子供が大きくなったのか。とかも聞いてくれる位、親しくして下さるお家もあることから、あまり意識せずに話をしています



—— これまで携わってきた仕事の中で、最も印象に残っている施工はなんですか？

全部印象に残っていますね。どこのお客さんも大事なお客さんなんで。やっぱり一つ一つ全く内容が違うので、家を大きく解体して、基礎からやりかえるような大きな工事になってくると、一つずつが、今までの経験がなかなか生きないくらい色々な問題に当たって、難しく大変でした。でも「どれか」とかではなく難しい現場もあったし、たくさん害虫に刺されながらの現場など、どれも印象に残っています。

—— 施工してお客様にどのような気持ちになってもえると嬉しいですか？

アラキ工務店にやってもらってよかった、僕にやってもらってよかった、と思ってもらえると幸せな気持ちになりますね。

常に寄り添って物事を考えられることが自分にとっての「良い仕事」

—— 経営指針に「良い仕事をしよう」とありますが、牛田さんが考える良い仕事とは何ですか？

工事にも予算があるので、「やりすぎない」や「手を抜かない」など、お施主さんに寄り添って物事を考えられることが、良い仕事なのではないかと思っています。

大変な仕事だからこそ少しの休息も必要。大工さんのリフレッシュ方法とは

—— 休日の過ごし方を教えてください

バイクの後ろに奥さんに乗せてツーリングに行ったり、意外と行けてない京都のお寺に、奥さんと紅葉の時期や新緑の時期に行ったり、やっぱり夫婦の時間を大切にしています。

—— 仕事のモチベーションの上げ方を教えてください（町家大工の築山さん）と二十九年一緒に仕事しているから、ストレスなく働けるし、お互い信用してるから、大変な現場は常時手伝いあってやってるので、意識せずに勝手にモチベーションは上がりますね。

—— 仕事のリフレッシュ方法を教えてください夕方疲れていても夜寝れば、リフレッシュできますし、遊びに行ったらもちろんリフレッシュできますね。

実際に携わっているからこそわかる京町家のリアルな現状

—— 京町家の現状を教えてください

最近、路地奥の工事が増えたのと、お施さんが外国人というのも増えて：なんかかと思ったら、やっぱり通り沿いの大きい京町家は活用の仕方があったり、売って財産にすることもできるので、どんどん値段は上がります。そうなると、まだ安い値段で残っているのが路地奥の京町家。手に入れやすいのでそれを改修することが増えたのではないかなと感じています。日本人よりも外国人の方が、京町家の良さや京都の良さを感じておられるのかなあと思っていますね。